



市民病院だより

地域と共に考える医療



整形外科

たかはし
高橋 亮介



整形外科の紹介

整形外科診療の案内

当院整形外科は、平日の午前中は毎日、初診と再診外来を行っています。常勤は私と田中医師の2人ですが、毎週月曜日の午前は愛知医科大学整形外科教授の出家医師が膝関節スポーツ外傷を中心とした外来を行い、水・金曜日は愛知医科大学の医局から派遣された非常勤医師が外来を行います。一方で、平日の午後は毎日手術を行い、例えば骨折など外傷や股関節・膝関節の人工関節置換術、関節鏡を使った半月板損傷や靭帯損傷などの手術を行います。

整形外科領域とは

整形外科診療は、人体の関節・骨・筋・神経など幅広い分野を担当する診療科です。外傷、スポーツ障害、赤ちゃんや小児の先天性障害のほか、変形性膝関節症といわれる高齢者特有の疾患、関節リウマチなどの膠原病など多岐にわたります。整形外科はいわゆる機能外科で、単に治すだけでなく、痛みを和らげ、歩けなかった人を歩けるようにすることが

目標です。高齢化社会を迎え、腰痛や股関節、膝関節の痛みを訴える患者が多く、まずは痛み止めの内服や湿布、注射を行います。それでも改善がない場合は手術を行います。痛みで歩くことが困難で、夜中に目が覚めてしまうような状況だと、仕事や日常生活で大きな支障があり、趣味が楽しめなくなるなど、日々の活力の低下にもつながります。

当院の特徴

当院では骨折などの外傷の手術に加え、出家医師による膝関節のスポーツ外傷の手術、例えば半月板損傷や前十字靭帯断裂などの関節鏡を用いた手術、また高齢者の股関節・膝関節の人工関節置換術を行っています。総合病院の強みを生かし、内科をはじめ他科と連携することも可能であり、愛知医科大学など他病院との連携も可能です。困りごとがあれば、いつでも相談してください。

問 市民病院 TEL 22-5211

おしえて

らびいくん!

—安子おばあちゃんと全くんの交通安全教室—
気のゆるみ 一杯だけが 命とり



岐阜県警シンボルマスコット
らびい



安子おばあちゃん



全くん

【お正月を迎え、初詣に行こうとしています】



おばあちゃん、あけましておめでとうございます。

あけましておめでとう。今年も交通事故に遭わず元気に過ごしましょうね。さあ、初詣に行きましょうか。



パパはお正月だから夜遅くまでお酒を飲んでいただけ、車で行くのかなー?

ぴー、ぴー、ぴー 飲酒運転による交通事故は後をたちません。飲酒運転をなくすための3つの約束を実践しましょう。社会全体で飲酒運転を許さない環境をつくるのが大切です。



【約束1】お酒を飲んだら運転しない

職場では飲み会後の帰宅手段の確認をしましょう。



年末年始は忘年会・新年会でお酒を飲む機会が多いものね。

【約束2】運転をする人にはお酒を飲ませない

運転をする方にお酒を勧めない雰囲気づくりが大切ね。「俺のお酒が飲めんのかー」って誰彼構わず勧める上司はNGね。



【約束3】お酒を飲んだ人には運転させない

家庭では二日酔いの確認をして、飲酒運転に気がつけたほうがいいですね。



うーん、じゃあパパは今日の運転無理だー!! 頭抱えているもん。

では、バスや電車で行きましょうか。初詣から帰ったら、お雑煮を食べましょうね。



わーい! でもおばあちゃん、お年玉もお忘れなくー。

問 道路河川課 齋藤 TEL 22-1276、多治見警察署交通第一課 TEL 22-0110